

■ グループ紹介

関電興業株式会社

1. 沿革

当社は、昭和28年10月に関西電力株式会社の関係会社として設立された。

創立時の業務内容は、前身母体である発送電興業株式会社大阪出張所の業務を引継ぎ、水力、火力発電設備ならびに送変電設備の保守工事などであった。

その後、産業界の発展と共に電力需要の旺盛な伸びにより、電力関連設備の拡充に伴って保守工事の量、対象範囲も大きく飛躍し、特に火力、原子力、電気部門の業務が中心となってきた。

現在では、電力設備のメンテナンスに係わる業務を主とするエンジニアリング企業として、現場での「品質と安全」を第一に、工具、工法の改善、作業効率の向上をめざしての「技術開発」や、さらに自前の「技術研修所」で技術能力を高める人材教育にも取り組み、電力安定供給の一翼を担うに至っている。

2. 事業内容

当社は、つぎのような事業を行っている。

2.1 電力設備の調査、設計、施工および管理

- (1) 水力、火力、原子力発電所の設備工事、定検工事および各種調査
- (2) 架空、地中送配電線の設備工事、補修工事

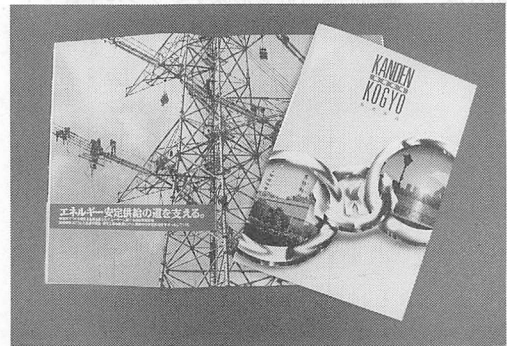
2.2 土木、建築設備の調査、設計、施工および管理

- (1) 土木工事、建築工事
- (2) 環境緑化工事、緑地育成管理
- (3) 地質調査、グラウチング工事

2.3 受託管理、代理店業務

- (1) 建物、運動場施設等の維持管理
- (2) 各種損害保険の代理店業務

また、事業所としては、大阪市に本店を置き、関西電力㈱の電気供給地域内には、支社（6箇所）、営業所（23箇所）、支所（12箇所）を配置して事業活動を



行っている。

3. 会社の現況（平成3年3月末現在）

資本金	3億円
従業員	約2600人
年度売上高	約914億円
本店	大阪市北区本庄東2丁目9番18号

4. 技術開発

当社が技術開発への取組みを組織的に始めたのは昭和62年4月である。

技術革新に対応し、現場工事の合理化、効率化、作業安全の向上を目標として、総合技術力の向上を図るべく、本店に「研究開発推進委員会」を設けた。

またその後、「研究開発提案制度」も創設し、全社員の創意と工夫を活用して技術開発の活性化と推進を図っており、昨年「技術開発部」を創設した。

つぎに開発成果の一部について紹介する。

4.1 200ボルト電化配線テスト

家電製品の増大による200ボルト化が進められており、200ボルトと100ボルトの誤配線のチェック作業を省力的にかつ確実に実施できるテストを開発。

4.2 光ファイバ複合架空地線の延線工法

送電線鉄塔に架線される光ファイバ複合架空

地線の工事中において、電線に過度のストレスを与えたとき、光ファイバ線が損傷する。これを防止するため、無張力で振れを起こさず施工ができる吊金車と工法を開発。

4.3 地中送電線管路内切削工法

地中送電線管路内に、周辺の地崩れ防止用薬液が流入して管路内の閉塞が発生する。この閉塞した管路を再生するための切削器とこれを200メートル先まで押込み可能な押込器を開発。

4.4 復水器細管の抜管工具

火力発電所の復水器細管取替工事において、従来は全て手作業により1本のタガネで管端部を加工し引抜いていた。これを一挙に管端部を3方向に加工できる3本爪タガネと細管の引抜きができる動力工具を開発。

4.5 廃液貯蔵タンク内部清掃装置

原子力発電所に設置されている廃液貯蔵タンク内の清掃作業において作業者に対する放射線の影響低減と廃棄物量の低減および作業時間の短縮をはかるため、遠隔操作によるジェット洗浄および廃液分離装置を開発。

5. むすび

今後ますます進むであろう技術革新に対応した総合的な新技術の研究開発および新規事業分野の開拓に必要な技術開発等について、関係部門が協調をとりながら一歩一歩着実に進めていきたいと考えている。

所在地：〒531大阪市北区本庄東2丁目9番18号

(文責：技術開発部長 山口 淳)

Information

「日本科学技術情報センター年間スケジュール」

- 情報管理講座研究会
 - 会 期 1992年6月
 - 会 場 日本科学技術情報センター7階ホール
 - 定 員 100名
 - 会 費 8,240円
 - テーマ 「役に立つ情報の入手と活用」
- 情報管理一般研修会
 - 会 期 東京 1992年5月26日(火)～28日(木)
 - 1992年7月1日(火)～3日(金)
 - 大阪 1992年9月2日(火)～4日(金)
 - 会 場 東京 日本科学技術情報センター
 - 大阪 大阪科学技術センター
 - 定 員 東京 各100名 大阪 120名
 - 会 費 31,930円 (テキスト代を含む)
- 情報管理セミナー (一般研修のミニ版)
 - 会 期 福岡 1992年6月18日(木)～19日(金)
 - 仙台 1992年9月10日(木)～11日(金)
 - 長野 1992年11月25日(木)～26日(金)
- 会 場 福岡 福岡朝日ビル
- 仙台 仙台商工会議所
- 長野 ホテル信濃路
- 会 費 15,450円
- 情報管理専門研修会
 - 会 期 東京 1993年2月4日(木)～5日(金)
 - 1993年3月4日(木)～5日(金)
 - 大阪 1993年2月18日(木)～19日(金)
 - 会 場 東京 日本科学技術情報センター
 - 大阪 大阪科学技術センター
 - 定 員 東京 各100名 大阪 120名
 - 会 費 30,900円 (テキスト代を含む)
- 第29回情報科学技術研究集会
 - 会 期 1992年10月22日(木)～23日(金)
 - 会 場 名古屋市公会堂
 - (名古屋市昭和町鶴舞1-1-3)
 - 定 員 1,000名
 - 会 費 8,240円 (予稿集代を含む)

※会費には消費税が含まれております。なお、会費は変更する場合がありますのでご了承下さい。